

「ふくしま土の会」第1回研修会での現地研修農家情報

(1)氏名：八巻 正好 氏

(2)住所：福島県伊達市梁川町栗野

(3)八巻氏の略歴

昭和44年梁川町農協に入所。営農指導・営農企画業務を28年間勤め、平成9年3月退職
その後、農薬メーカーに17年間技術普及指導にあたり65歳で退職後、農薬・肥料等農業関連資材の卸会社で、技術顧問として6年間勤め71歳で退職する。

(4)八巻農園の概況

①八巻農園の土壌

野菜畑、果樹園は壤土であり、一部小さい小石が作土に見られる所がある。
透水性は良好。また、根菜類専用の砂壤土畑がある。

②耕作面積と主な作付作物

露地畑：野菜（ナス・キュウリ、ブロッコリー・キャベツ・ハクサイ、カボチャ・枝豆等）
35a

ハウス：パイプハウス単棟4棟 10a

（キュウリ・スナップエンドウ・サヤエンドウ・葉菜類）

果樹園：モモ 20a、プラム 2a、甘柿 5a、渋柿 3a

その他:水稻（コシヒカリ）15a

③八巻農園での「土づくり」の基本方針と具体的内容

直売所主体の野菜栽培であるため、輪作プランがポイント。多品目、小面積リレー栽培とし種苗メーカーのおすすめ品目の栽培試験、次年度作付プランの参考にする。最終判断は、直売所の消費者の反応である。（直売所店員の声）このような事から、野菜畑には雑草を生やさない手取り除草とモミガラ牛ふん堆肥（100 kg/1a）腐植酸質資材（15 kg/1a）の投入で作土を深くすることが共通の土づくりである。

また、野菜残渣の根は堀り上げ根の状態を見て処理する。

主な事項

- ・ pH の矯正は主として有機石灰（カキ殻）と石灰窒素の利用
- ・ 野菜作付品目別に肥料を効かせるタイプを把握し肥料を多く施肥しない。
- ・ ハウス栽培のスイートコーンの残渣をすき込みやサヤエンドウ類後作にソルゴーは種
- ・ イオウコーティングロングタイプ肥料や有機化成を使用する。また、水溶性（ケイ酸、苦土）肥料を一部野菜に使用する。

(5)その他(JA の達人制度など)

年間研修計画があります。

- ・ JA ふくしま未来の「農の達人」として
野菜栽培講習会、土壌肥料研修会、営農指導員（経験 3 年未満）の研修
- ・ 新規就農者や直売所会員の野菜づくりと土づくりの研修会